

平成 20 年 3 月 3 日

第 3 回 国境なき技師団 定例セミナー 記録

日 時：平成 2 0 年 2 月 2 6 日（火） 14:00～17:00（セミナー）
17:10～18:30（懇親会）

場 所：土木学会 講堂（新宿区四谷一丁目 外堀公園内）

主 催：NPO(特定非営利活動法人) 国境なき技師団

後 援：(社)土木学会 (社)日本建築学会 (社)地盤工学会 日本地震工学会 (社)日本地震学会

協 賛：NPO法人 ITステーション「市民と建設」

参加人数：約 50 名

プログラム：

- 14:00～14:10 「開会挨拶」：
小長井 一男 EWB-J 理事長（東京大学教授）
- 14:10～14:40 「EWB-J 活動報告 パキスタンにおける防災知識の伝承と普及活動報告」
小長井一男 EWB-J 理事長（東京大学教授）
- 14:40～15:10 「EWB-J 活動報告 インドネシア地盤調査技術普及活動報告」
小長井一男 EWB-J 理事長（東京大学教授）
- 15:10～15:30 質疑
- 15:30～15:40 休憩
- 15:40～16:10 「EWB-J 活動報告 バングラデシュ支援事業速報（建築関係）」
大越 俊男（日本建築センター審議役）
- 15:40～16:10 「EWB-J 活動報告 バングラデシュ支援事業速報（土木関係）」
林 興治 EWB-J 技術部長
- 16:40～17:00 質疑
- 17:10～18:30 懇親会

【第3回定例セミナー記録】

受付



受付状況（土木学会講堂入口）

司会進行 村上 清基



司会進行の状況

開会挨拶

小長井 一男 EWB-J 理事長（東京大学教授）の開会挨拶があり、国連の難民高等弁務官事務所等のデータによると、日本は国際的な援助活動を実施しているが具体的なプロジェクトへの参加が少ない状況や EWB-J がジャパン・プラットフォームの支援を受けて活動を開始している状況などの説明があった。



小長井 一男 EWB-J 理事長（東京大学教授）

「EWB-J 活動報告 パキスタンにおける防災知識の伝承と普及活動報告」

小長井一男 EWB-J 理事長（東京大学教授）

EWB-J の活動報告として、土石流による被災状況などの現地説明と現地で作成したレポートにて復旧方法の提案を実施したことが紹介された。また、EWB-J の活動として実施した子供たちへの防災教育が大変好評で、現地では自ら教育を実施したいとの要望があり、対応を開始していること及び JICA（ジャイカ）の支援を受けて現地の技術者に技術セミナーを開催したことなどの報告があった。



小長井 一男 EWB-J 理事長（東京大学教授）の説明状況

「EWB-J 活動報告 インドネシア地盤調査技術普及活動報告」

小長井一男 EWB-J 理事長（東京大学教授）

地震防災技術普及活動として(社)国際建設技術協会の支援を受けて、土木学会やインドネシア工学会の協力のもとに実施した地盤調査普及活動の報告が行われた。インドネシアの中小都市では地震に強い社会基盤整備に不可欠なボーリングデータ等の地盤調査はほとんど行われていない状況であることから、スウェーデン式サウンディングなどの比較的簡易な試験方法の普及を図ることが目的である。地震によって地盤が側方に動くことなどの認識が少ない現地技術者には調査結果と液状化の判定方法などへの強い関心があったことなどが報告された。

また、小長井理事長がスマトラ島にあるパダン（Padang）に入り、現地にて地震・津波などの教育を行なったことなども紹介され、教育は現地語で行なうことが重要であること、現地の大学の先生が英語を現地語に訳してくれて協力してくれたことなどの報告もあった。



小長井 一男 EWB-J 理事長（東京大学教授）の説明状況

「EWB-J 活動報告 バングラデシュ支援事業速報（建築関係）」

大越 俊男（日本建築センター審議役）

EWB-J がジャパン・プラットフォームの支援を受けて開始している事業として、バングラデシュにおける支援事業（建築関係）が報告された。バングラディッシュでは法体系の整備が遅れており、耐震性などが考慮されていない状況や日本にはない様な簡易的な住居で竹や丸太を使った家などが主体であることなどの現状報告並びにワークショップを開いて日本の自然災害と住宅、ビルディングの歴史や台風・地震への対応を紹介したこと及び風荷重への対応、L型壁、T型壁や長さ1m程度の杭や束柱などによる住宅の改善案などを提案する予定であることが報告された。また、基準類としてマニュアルの整備や現地での二次製品工場の必要性などの課題があることも報告された。



大越 俊男 日本建築センター審議役の説明状況

「EWB-J 活動報告 バングラデシュ支援事業速報（土木関係）」

林 興治 EWB-J 技術部長（バングラ支援事業 主査）

建築部門と同様にバングラデシュ支援事業（土木関係）の報告が実施された。土木関係では現地状況を確認するために実施した視察結果として写真とビデオにより被災状況が紹介され、また、台風（サイクロン）が予報から2日も遅れて到達するほど天気予報の精度が悪いこと及び携帯電話（Cell-Phone）やスピーカによる情報伝達手段がある程度整備されているため被害が軽減されたことなども紹介された。なお、バングラディッシュには防災教育の必要性と併せて、現地の材料や方法をベースとした堤防法面の復旧方法及び堤防上の道路舗装の復旧方法を提案する予定であることなどが報告された。



林 興治 EWB-J 技術部長の説明状況

質疑応答

パキスタンの地震の震度やバングラデシュのサイクロン進路予想等の活発な質疑応答も実施された。



質疑応答の状況

懇親会



開会挨拶



懇談状況



懇談状況



閉会挨拶